

No. 2403

展望と奇岩・怪岩のお山巡り

備前楯山・庚申山

実施日 2009年5月16日(土)～17日(日)

天候 曇り・小雨

リーダー 涌井 良明

参加者 若村貴世子、若村勝昭、涌井良明、鈴木政三、金本英雄

計 5名

費用 交通費 3,800 円(道路、ガソリン代)

宿泊費 7,815 円 計 11,615 円

タイム 16日 荻窪駅北口(6:00)関越・

北関東道路経由・銀山平

かじか荘(8:50~9:30)一

ノ鳥居(10:20~30)鏡岩

(11:02~07)庚申山荘

(11:50~12:15)庚申山展

望台(13:28~40)猿田彦

神社跡(14:58~15:10)一

の鳥居(15:50)かじか荘

(16:50)泊

17日 かじか荘(9:00)足尾銅山

観光(9:20~10:45)富弘

美術館(11:15~12:15)

伊勢崎 IC ~ 関越自動車

道経由・荻窪駅(15:45)

日曜日の雨が予想されたので、日程を入れ替え、一日目に庚申山へ登ることにした。早めの集合に協力してもらい、お陰で土日 1,000 円の高渋滞にも遭わず 3 時間弱でかじか荘に着いた。

予報通り曇天の空からは雨が落ちて来ても不思議はなさそうな雲行きである。



全員のスタンバイにやや手間取った？が 9 時半には全員かじか荘から林道歩きをスタート。

ツツジがアクセントを添える新緑の



道を駆け飛ばす。

10時20分に一ノ鳥居で先行組と合流、山道歩きになる。

沢を渡り返しながら緩めの登りが続く、瑞々しい緑に癒される道である。鏡岩という謂われ伝説のある大岩を過ぎ庚申講の丁目標柱を数えながらじっくり登る。お山巡りからの分岐の先で僅かに左へ行くと立派な構えの庚申山荘に着く。小屋番のおじさんが焚き火をしており、相当の話し好きでおしゃべりを BGM に昼食にした。

気温も低く休んでいると焚き火が有り難く感じた。

それ程のんびりもしてられないので、分岐



まで戻り庚申山を目指す。旧山荘の広場を過ぎると岩が目立つ道になる、大きな一枚岩も上部はガスに包まれている、所々にクサリや梯子がつけられた急な登りを行くが、変化があって面白いといった感じで、山荘のおじさんが最近人気があると云っていたのもうなずける。

開山した勝道上人の修行広場、一ノ門などを通過し、岩道が一段落すると、お山巡りの分岐にでる。

この先は樹林帯になり、傾斜も緩くなる、僅かに残った黒い雪も見て三角点

に到着、展望はないのですぐ先の展望台



まで進む。
遠望は
きかない
が周囲の
山々が素
晴しい眺
めである。

何と言っ
ても曇り
空にガス
を絡めて
迫る皇海
山がその
存在感を
誇示して
いる。



ここまで
おいでと
誘われて
いるよう
に思えて
くる。

百 人気は
ともかく
、ここら
見ると誰
でも登っ
てみたくな
るのでは
ないだろ
うか。

細かい水
滴も落ち
てきたの
で、再訪
に思いを
巡らせつ
つ山頂を
辞した。分
岐からお
山巡りコ
ースの予
定だったが
、岩道ル
ートのため
天候と時
間を考慮
、往路を
戻ること
にした。山
頂に



立てたこ
とで気分
は上々、
時々芽吹
きや奇岩
を眺めな
がら、下
り道も楽
しみなが

ら下った。

山荘には
寄らずに
、一ノ鳥
居へ、行
きに気付
かなかつ
つじの美
しさに見
とれたり
しながら
、林道を
戻り、か
じか荘に
5時チェ
ックイン
、ツルツ
ルのお湯
に浸って
疲労も回
復？して
本日の打
上げ会に
突入した
。充分に
満喫

してから
今日は就
寝です。

2日目、
雨は本降
りで山を
歩く天候
ではない。
備前楯山
は割愛で
衆議一
致？観光
に変更し
て、9時
にかじか
荘を後に
する。

R122を
少し日光
方面に向
かい、足
尾銅山観
光の坑道
展示で4
00年



に渡る
銅山の歴
史に触れ
た。その
後は、草
木湖畔の
富弘美術
館で、四
肢が不自
由ながら
素晴らしい
感性で精
緻に草花
などを描
き、その
絵に誌を
書き加え
た作品を
世に送り
出している
、星野富
弘氏の生
き方に感
銘し、 \times
にはテレ
ビ番組で
紹介され
たことあ
るうどん
の名店？
で昼食。山
以外のカ
ルチャー
に接して
、歩かず
とも楽し
めた2日
目の予定
も終了に
して、帰
途につい
た。

渋滞もな
く順調に
荻窪駅に
て解散。
オツカレ
サマでし
た。

アプローチ
が不便な
ため当初
から自動
車利用で
計画した
が、心配
した渋滞
にも遭わ
なかった
のは幸い
だった。

こらから
も、行先
や状況を
考慮しつ
つ車利用
の計画も
行ってい
きたいと
思う。

(記&写真・涌井 良明)

